

図2-28 医療機関の安全性についてどのように思うか [国20, 医13, 患16]

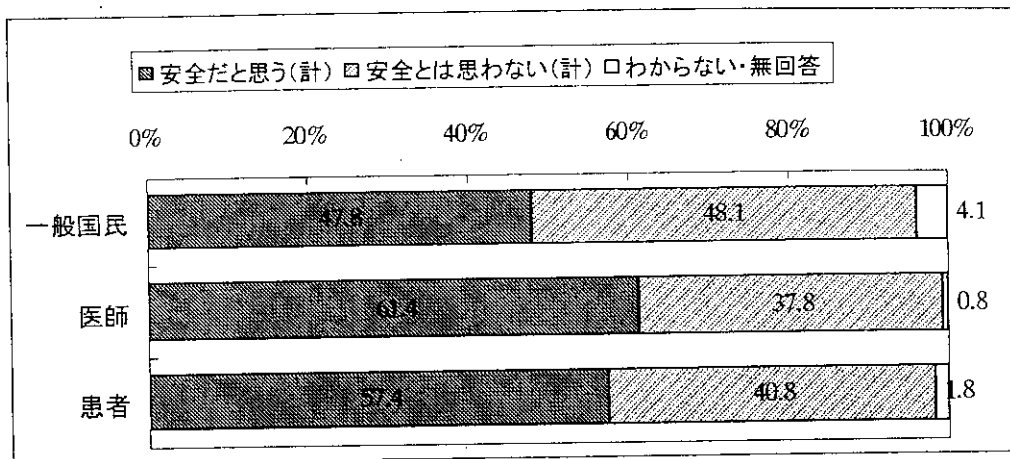


図2-29 医療裁判増加の理由 [国22, 医15, 患18]

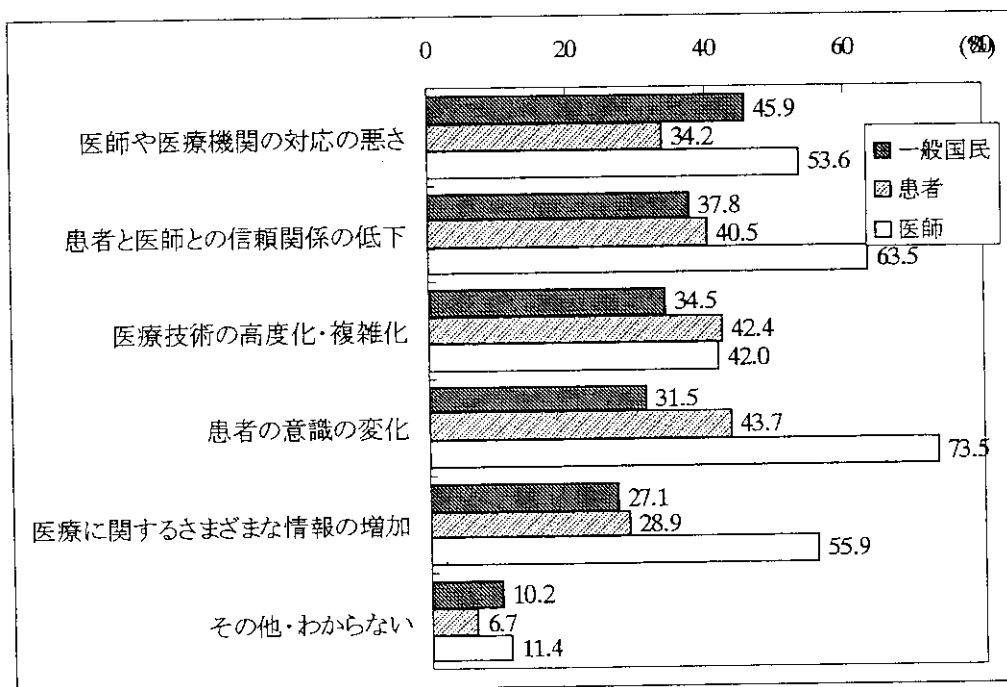
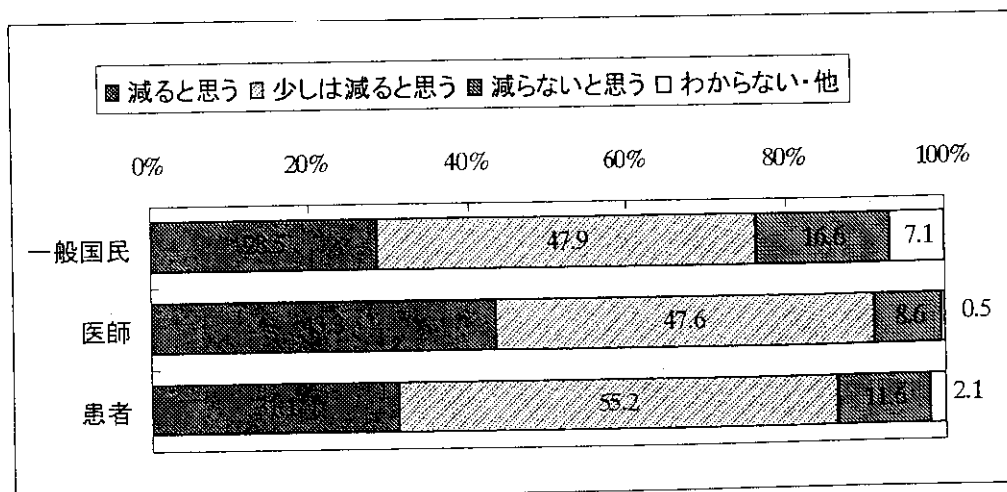


図2-30 誠意ある対応による裁判の減少 [国23, 医16, 患19]



3-2 医療事故防止のための対応策

安全性に関連して、医師、国民、患者に医療事故防止のための対応策を尋ねた。立場上の違いを考慮して、国民調査・患者調査の選択項目と医師調査の選択項目は異なる内容にした。結果は、国民・患者は、医療従事者とのコミュニケーションを重視しており、医師は教育・研修の強化をあげた人の割合が最も高かった。

医療事故対応策

国民の考える対応策の上位3項目は、①医療従事者とのコミュニケーション、②自身の知識の向上、③医師や医療機関に関する情報入手、であった(図2-31)。一方、患者が考える対応策の上位3位は、①医療従事者とのコミュニケーション向上、②医療従事者との信頼感を高める、③自身の知識の向上、であった(図2-32)。国民、患者ともに、医療従事者とのコミュニケーションや信頼感を重視している。

医師が考える防止策の上位3項目は、①医療機関が医療従事者の教育に努める、②医療従事者が知識・技術を高める努力をする、③医療従事者との連携を強化する、となっている(図2-33)。安全な医療サービス提供を行うための、医療機関や医師自身の対応が求められている。

図2-31 医療事故を防ぐ方法（国民）〔国21〕

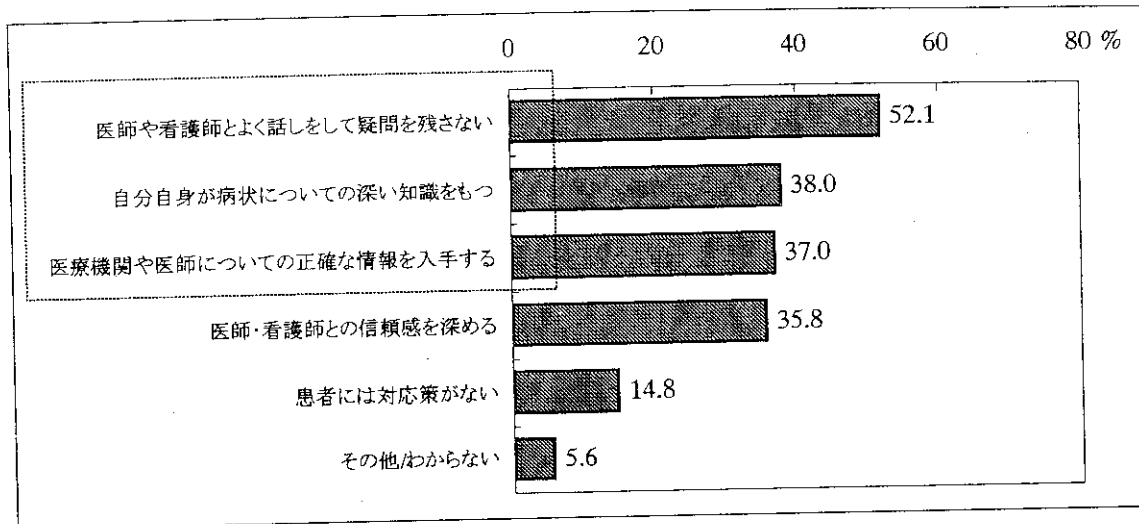


図2-32 医療ミスを防ぐ方法（患者）〔患17〕

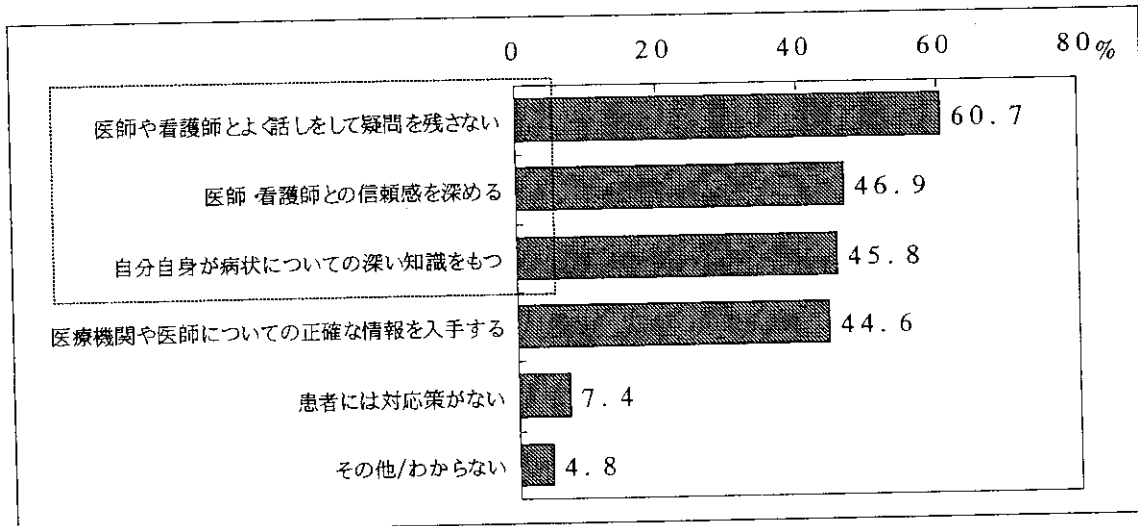
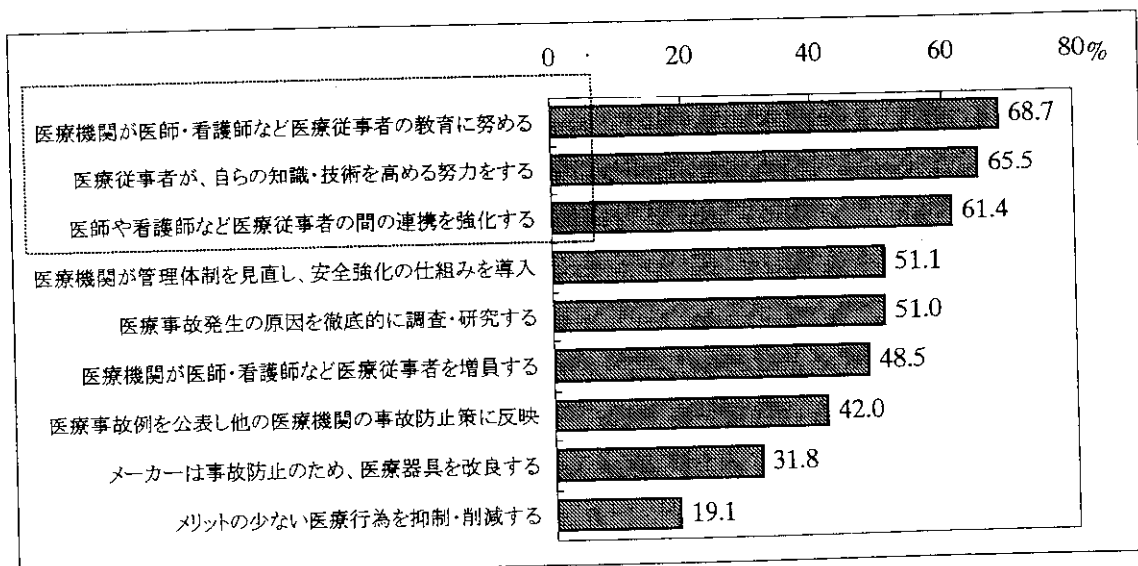


図2-33 医療事故を防ぐ方法（医師）〔医14〕



4. 医療保険体制

4-1 医療費

医療費の増加や負担について、国民や患者の意識を調査した。国民は医療費に関する知識が比較的豊富で、医療費に対する負担感が高かった。一方、医療費増加の理由は高齢者の増加が最も多かった。

医療費に関する知識と負担感

国民の医療費に関する知識も調査した。医療費負担を (1) 保険料と (2) 医療機関での窓口負担、の2つの方法で行っていることを知っている国民は全体の82.8%で、高い割合を示した (図2-34)。国民が持つ医療費の負担感は、非常に高いと思う人が全体の19.2%で、やや高いと思う人が43.8%、妥当だと思う人が29.1%であった (図2-35)。

医療費増加の理由

医療費増加の理由を尋ねると、国民が考える上位3つは、①高齢者の増加、②医療機関で多数の検査や処方薬等、③医療技術の進歩、であった (図2-36)。患者についても同様の順位であった。一方、医師が考える医療費の増加の大きな理由は、①高齢者の増加、②医療技術の進歩、③慢性疾患の増加、となっている (図2-37)。

図2-34 医療費負担の手法 (国民) [国27]

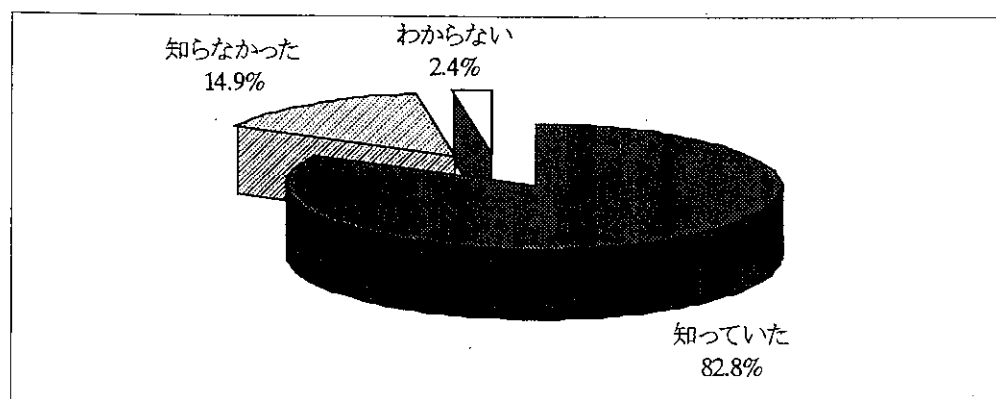


図2-35 医療費の負担感（国民）〔国28〕

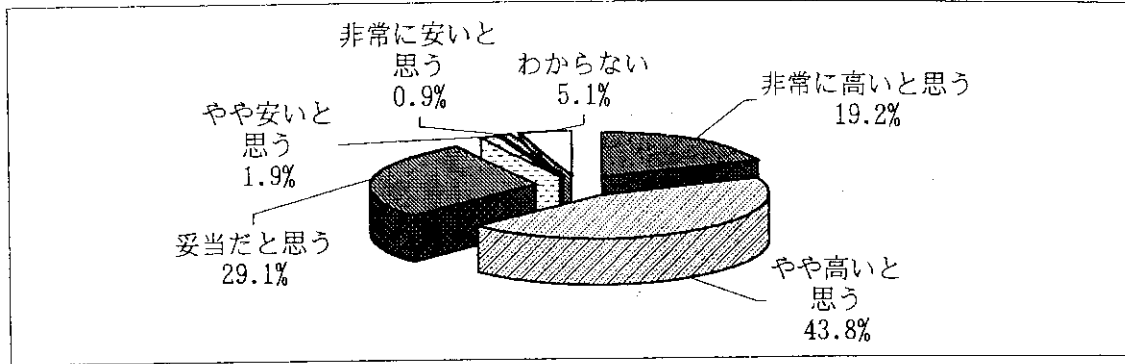


図2-36 医療費増加の理由は何か（国民）〔国29〕

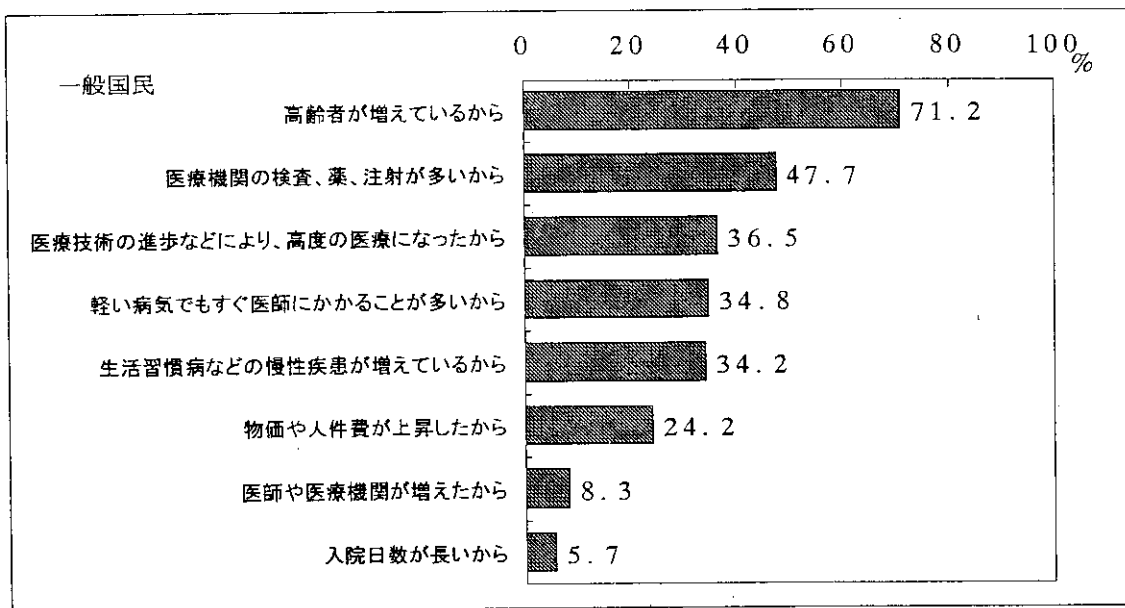
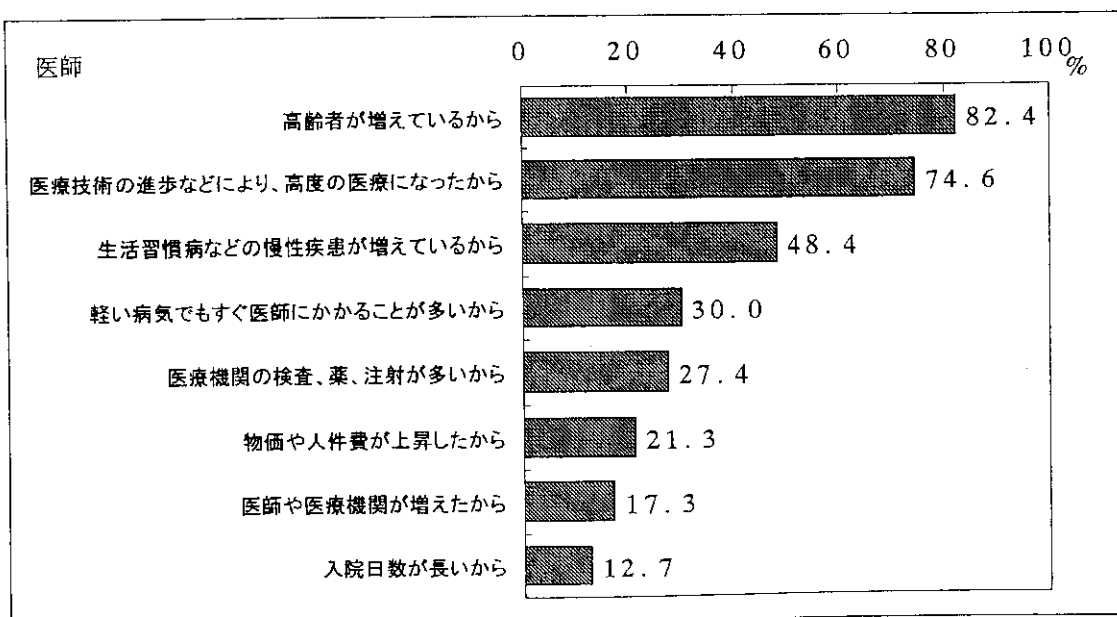


図2-37 医療費増加の理由は何か（医師）〔医21〕



4-2 重点課題

今後の医療提供体制で重点を置くべき点はどのようなことか、という質問を行った。国民・患者は夜間・休日や救急医療が最重要課題であり、医師は医療従事者の資質向上であった。

今後の医療提供体制において重点を置くべき点はどのようなことか

国民、患者共に、①夜間・休日診療／救急医療の整備、②長期入院や介護施設の整備、③心のケアや心の健康のための医療、を上位3位にあげている（図2-38, 39）。医師は、①資質の向上、②医療機関の連携、③夜間・休日／救急医療の整備、を上位にあげている（図2-40）。

図2-38 重点課題（国民）〔国34〕

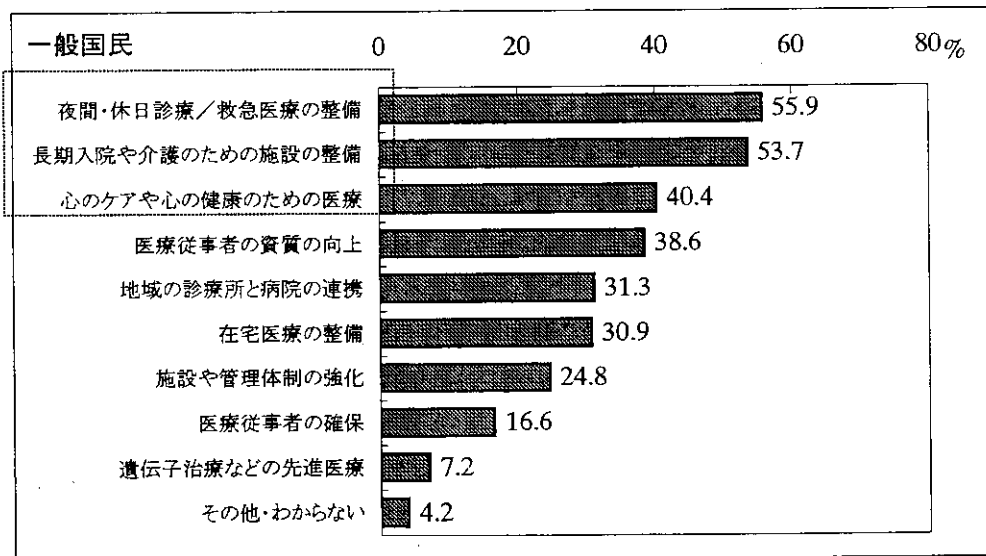


図2-39 重点課題（患者）〔患29〕

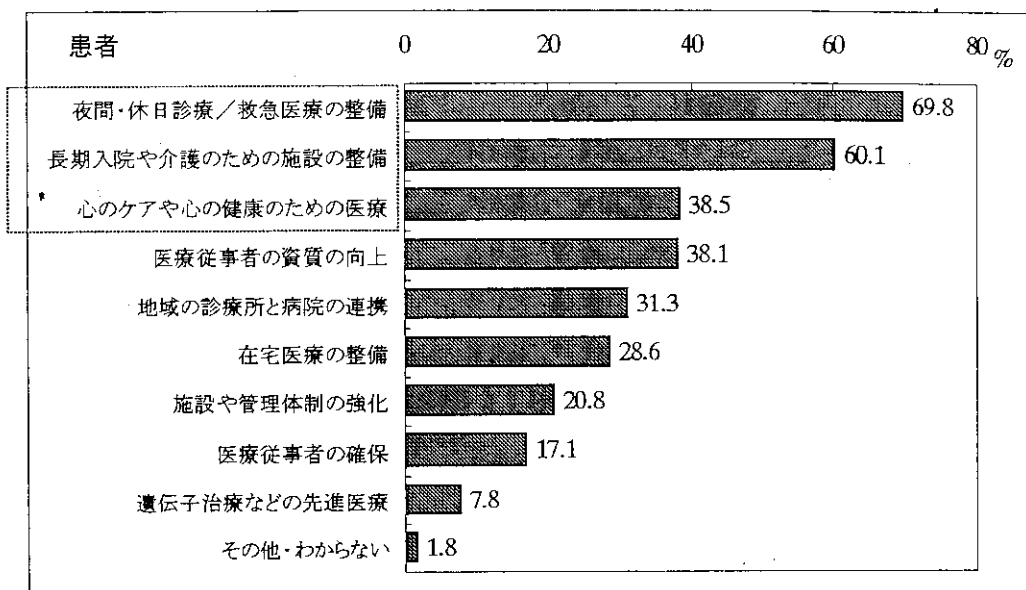
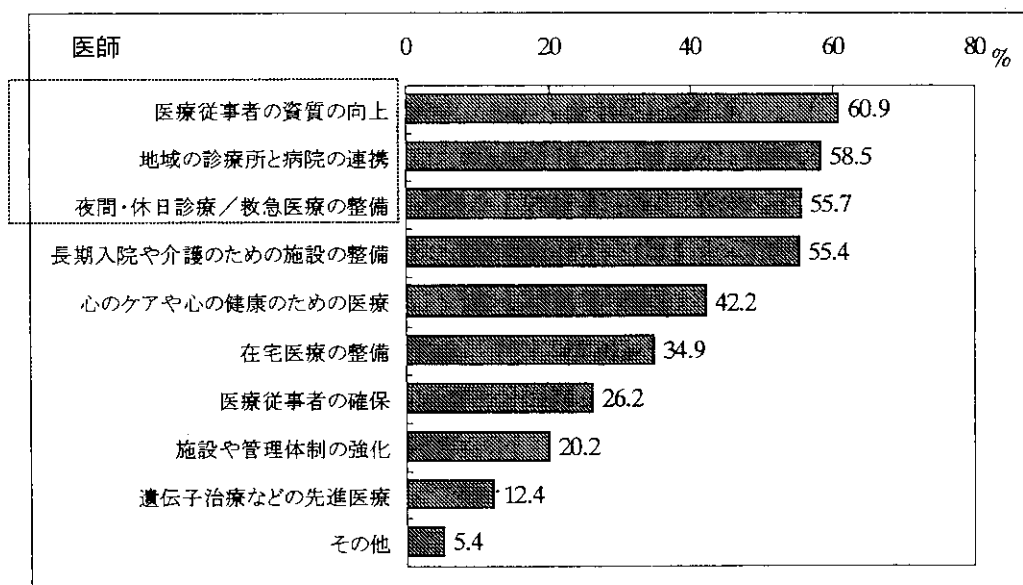


図2-40 重点課題（医師）〔医20〕



4-3 医療保険

現在の公的保険は、所得の高低に関わりなく国民全員に同じレベルの医療を給付するが、臓器移植のような高額な医療は対象となっていない。国民、患者、医師が求めている将来の医療保険はどのようなものかを尋ねた。結果は、国民・患者の7割強が同じレベルの医療を求めた。一方、医師は5割弱が同じレベルの医療に賛成したが、「支払いができる人は保険給付水準を越えた医療を受けられる仕組み」に賛成した人も4割弱を占めた。また、医師の間では勤務医と開業医の間で意見の差が大きかった（後述 3章2-3）。このように、保険のあり方については国民と医師の間で差があり、医師の間でも格差がみられた。

医療保険のあり方について (A) (B) のどちらを望むか

- (A) 所得の高い、低いに関係なくみんなが同じレベルの医療を受けられる仕組み、
- (B) お金を払える人は追加料金を払えば、保険で給付される以上の医療やサービスを受けられる仕組み

という選択肢に対して、国民の71.4%、患者の74.0%が (A) を支持したが、医師は47.2%が (A) を支持し、37.9%が (B) を支持した（図2-41）。

4-4 医療改革

医師がよりよい医療サービスを提供できるためには、どのような改革や整備が必要であるか。現場の医師は診療以外の業務の負担を減らすことを求めている。また、医師教育や卒後研修などの教育の強化も必要とされている。

よりよい医療を実践するために必要な改革

医師が考える必要な改革や整備は、診療以外の業務の軽減、教育や研修の強化、診療報酬の向上、が上位3項目であり、現状の問題点が浮かび上がってくる（図2-42）。

図2-41 医療保険のあり方に関する賛否（国民、医師、患者）〔国30、医23、患25〕

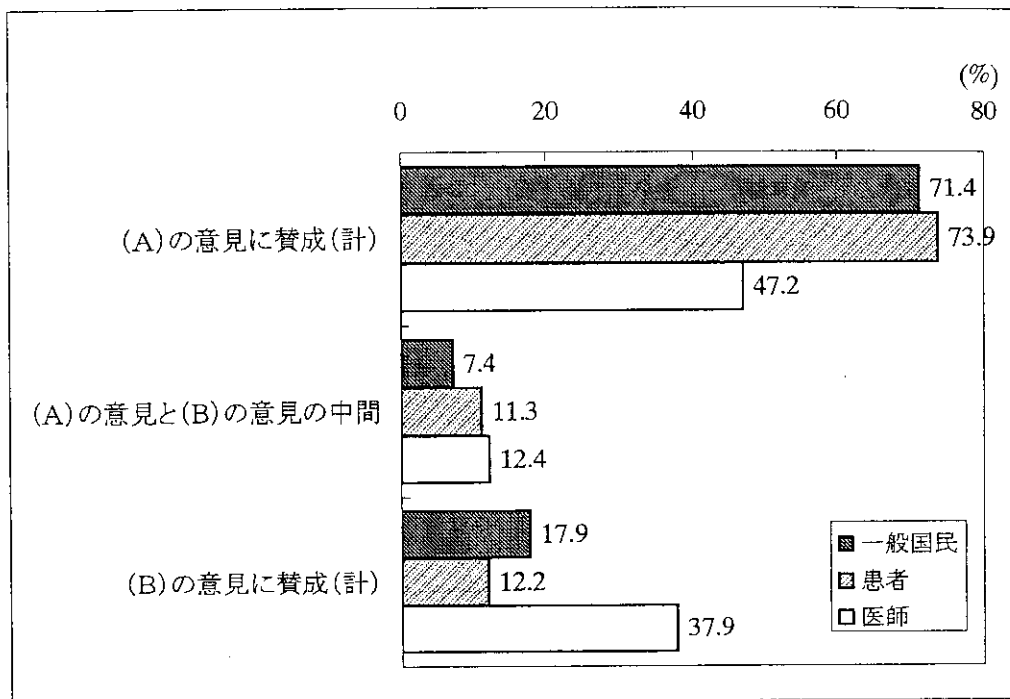
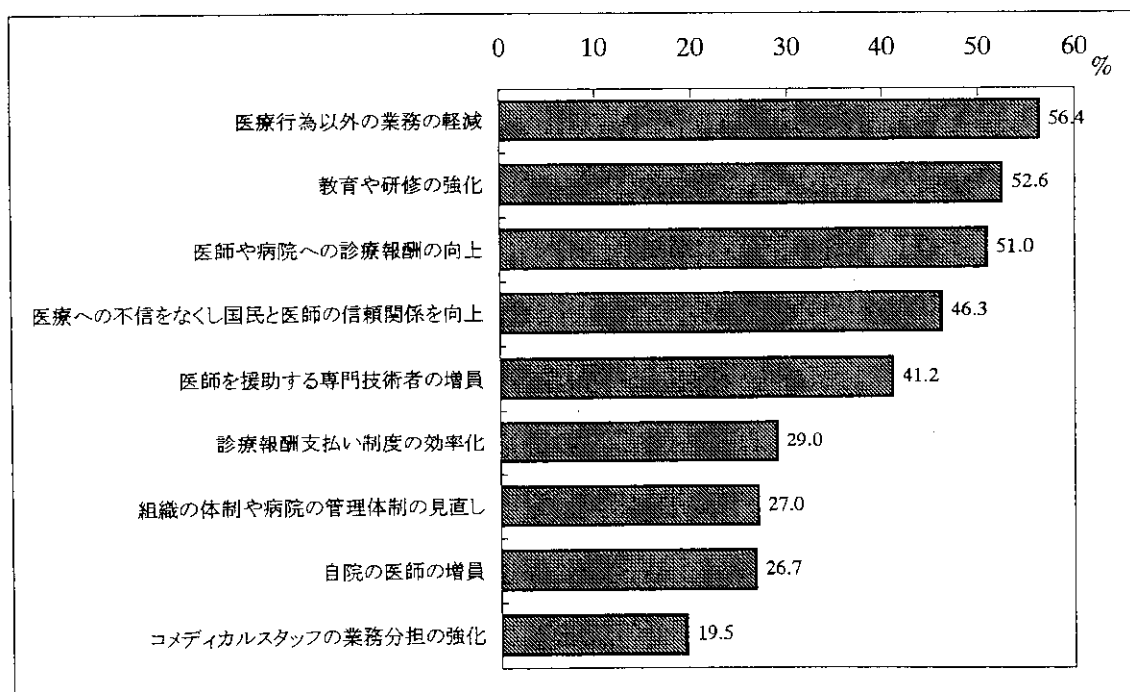


図2-42 よりよい医療を実践していくための改革や環境整備（医師）〔医18〕



4-5 医師の理想像

国民・患者・医師自身が描く医師の理想像は、どのようなものか結果を示した。回答は、専門知識だけでなく、丁寧で分かりやすい説明が多く求められていることを示した。

医師の理想像

国民と患者は上位5項目が一致している。うち上位3項目は、高い専門知識と技術、丁寧で分かり易い説明、責任感の強さ、の順である（図2-43,2-44）。一方、医師は、丁寧で分かりやすい説明、思いやり・優しさ、高い専門知識と技術、をあげた（図2-45）。

図2-43 医師の理想像（国民）〔国24〕【3つまで】

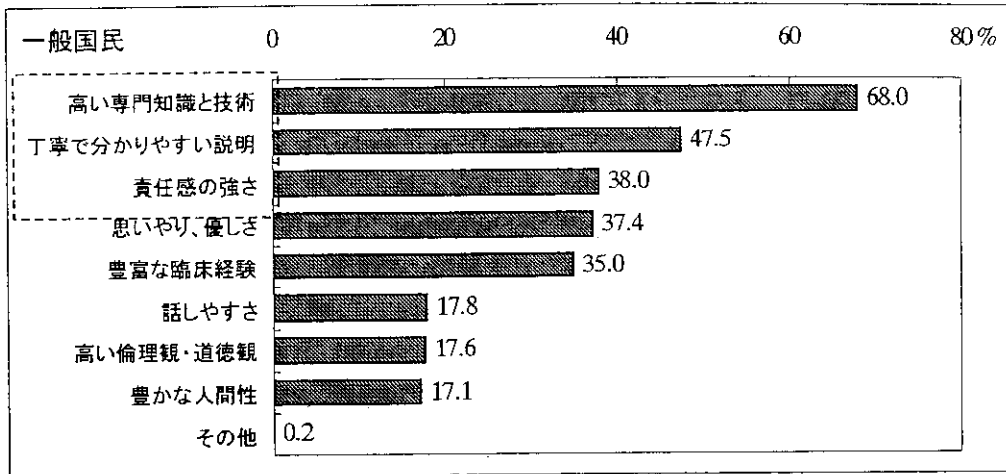


図2-44 医師の理想像（患者）〔患20〕【3つまで】

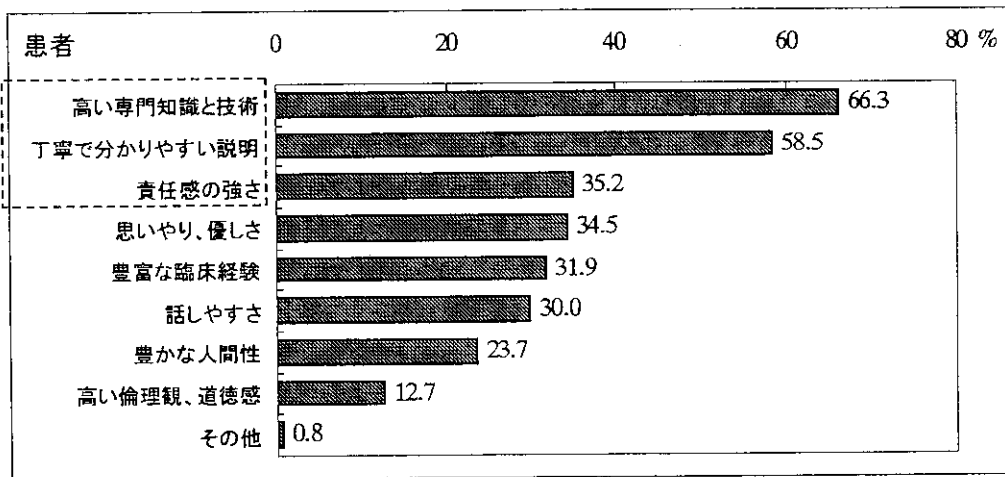


図2-45 医師の理想像（医師）〔医19〕【複数回答】

